

第4学年 算数科学習指導案

名古屋市情報教育研究会

1 単元 垂直・平行と四角形

2 本時の指導

(1) 目標

いろいろな四角形を種類分けする図（フローチャート化した図）の作成を通して、四角形の定義や性質について理解を深めることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

直線の位置関係や図形の特徴をもとに、順次処理や条件分岐を使って四角形を種類分けする図（フローチャート化した図）を考え、四角形を分類することができるようにする。

(3) 準備

ホワイトボード・分岐カード（各グループ用・掲示用）、ワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 前時までの復習をする	○ 「平行四辺形」「台形」「ひし形」など、前時までに学習したいろいろな四角形の定義や性質について確認する。
3分	2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いろいろな四角形を種類分けする図を考えよう。</div>	
12分	3 グループでいろいろな四角形を種類分けする図を考える。	○ 分岐カードの使い方について説明する。 ○ 四角形の図形の特徴を思い出させ、分岐カードの下にそれに当てはまる四角形のカードを並べさせることで考えやすくなることを伝える。 ○ ある程度カードを並べられたら、カードの言葉に沿って四角形が分けられるか試してみるよう声を掛ける。 ○ 四角形を種類分けする図は複数あることを確認し、目的が達成されていれば良いことを伝える。 ○ 図を比較し、分け方がシンプルで分かりやすい方法について検討させる。
10分	4 グループで考えた四角形を種類分けする図を全体で発表する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>図形の定義や性質について理解し、四角形を種類分けする図を考え、分類することができる。</p> <p style="text-align: right;">【活動の様子、ホワイトボードの図】</p> <p>□…分岐カードを並べる際には、前時までに学習した四角形の定義や性質を確認させ、図形の特徴が少ないものから分類していくよう声を掛け、支援する。</p> <p>☆…グループで考えた四角形を種類分けする図を比較し、それぞれの図について共通点や相違点がないか考えさせる。</p> </div>		
10分	5 グループで、テレパシーゲームに取り組む。	○ テレパシーゲームの方法を紹介し、作成した図を使って取り組むよう声を掛ける。 ○ 本時の振り返りをワークシートに記入させる。
5分	6 本時の学習を振り返りを行う。	

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動